—— 法人設立記念講演会 ——

法人設立記念講演会および祝賀会開催される

本学会が有限責任中間法人として，平成19年4月2日から再出発したことを記念して，10月27日に経団連会館国際会議場において法人設立記念講演会が開催された。

記念講演は山根源之理事長の挨拶の後，２名の招待講演者により講演を頂いた。

鶴本明久先生（鶴見大学歯学部予防歯科学講座教授）からは「超高齢社会におけるコミュニティーデンディストリー」と題する講演を頂いた。世界の中における日本の歯科医療の現状と問題点，ヘルスプロモーションの視点からの新しいコミュニティーの必要性をお話し頂き，歯科保健のこれからの形のご示唆を頂いた。

新井平伊先生（順天堂大学医学部精神医学講座教授）からは「認知症への取り組み」と題する講演を頂いた。認知症，特にアルツハイマー病に関する種々の取り組みについて最新の情報をわかりやすく解説頂き，診断法から薬物療法，随伴症状への対応の重要性，介護やリハビリテーション，さらには家族の支援までも含めた幅広いお話しを頂いた。

両先生には，超高齢社会における老年医学・老年歯学の今後を考えるための重要な示唆を頂くことができたと感謝している。これからも多方面からの新しい知識技術の吸収に前向きでありたいと決意を新たにすると共に，超高齢社会に求められる歯科医療サービスの提供は何かを考えるきっかけにできれば，と考えさせられた。

山根源之理事長挨拶

講演会に続き懇親会が開催され，日本歯科医学会から江藤一洋会長，日本学術会議からは瀬戸皖一会員など多くの著名な先生方の参加を得，また貴重なお言葉を頂戴した。

本学会がこれを契機に法人としての責務を自覚し，さらに前進することを確信させられた一日であった。（森戸光彦　記）

鶴本明久先生

新井平伊先生